

研究種別	重点化研究	
研究課題名	ピラミッドアジサイの新品種育成	
研究期間	平成29年度 ~ 平成33年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.6
2	研究内容の新規性	4.2
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.0
4	研究予算、研究体制の妥当性	4.0
	総合評点	4.2
<p>[コメント] ピラミッドアジサイという山梨県独自の新品種の作出や栽培法の開発にオリジナリティと実績があり、極めて優位性の高い課題である。また、産地の競争力の強化が期待できるとともに、オリンピック等に向けた需要の可能性も期待できる。手法そのものには特に新規性はないが、アジサイ花型そのものに新規性があり、また、県オリジナル品種ということでも新規性が高い。新品種、オリジナル品種の作出が期待できる課題であり、課題の目標、研究の内容に整合性・妥当性があることから、重点課題として実施すべき課題であると考えます。</p>		

事前評価報告書

総合農業技術センター評価委員会

平成29年8月29日(火)

研究種別	重点化研究	
研究課題名	密播苗を用いた水稲の省力・低コスト栽培技術の確立	
研究期間	平成30年度 ~ 平成32年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.0
2	研究内容の新規性	3.6
3	研究目標、研究計画の妥当性	3.8
4	研究予算、研究体制の妥当性	3.6
	総合評点	3.8
<p>[コメント] 密植苗利用は近年の農地集約・大規模化に向けた省力技術・省スペース技術として、新たに提案されている技術である。他県において密植苗利用の効果に関する報告はあるものの、まだ普及には至っていない。そのような中で、県内導入に当たっては、品種、栽培条件等の検討のみならず田植え機の改良等も考慮しなければならない。特に、今後の高齢化、農地集約を考えると、早急に検討を有する課題と考える。</p>		

事前評価報告書

総合農業技術センター評価委員会

平成29年8月29日(火)

研究種別	重点化研究	
研究課題名	トマト茎葉残さ処理を組み合わせた土壌還元消毒技術の確立	
研究期間	平成30年度 ~ 平成32年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.0
2	研究内容の新規性	3.4
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.0
4	研究予算、研究体制の妥当性	3.6
	総合評点	3.8
<p>[コメント] 土壌還元消毒技術に利用する有機物としてトマト茎葉残さを取り入れようとするものであり、その点に新規性がある。また、トマト茎葉残さ処理における労働力の削減や農薬等の投入資材の削減が可能な環境保全型農業の推進にも繋がる。主要園芸作物の廃棄物を対象にしたトライアル的な課題であり、高齢者の農業継続や小規模農家の経営を考えると、実施するに値する課題である。</p>		

事前評価報告書

総合農業技術センター評価委員会

平成29年8月29日(火)

研究種別	一般枠研究	
研究課題名	高冷地における夏秋パプリカの安定生産技術の確立	
研究期間	平成30年度 ~ 平成32年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.0
2	研究内容の新規性	3.6
3	研究目標、研究計画の妥当性	3.6
4	研究予算、研究体制の妥当性	3.6
	総合評点	3.7
<p>[コメント] パプリカ栽培は国内においては10年前頃から導入が図られているが、まだ産地として形成されたものはない。そのような中で、県内導入を試みるところに新規性が認められる。特に、パプリカのような新規作物の生育技術の確立は、県内導入時においては生産基盤となるべきものである。さらに、新規作物の導入は“もうかる農業”への試みでもあり、新たな産地の形成や、高齢者・新規就農者への波及も期待できる。是非とも実施したい課題である。</p>		